

HIDWR

兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 平成23年第8週(2月21日~2月27日)

兵庫県感染症情報センター(兵庫県立健康生活科学研究所:健康科学研究センター)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

インフルエンザ

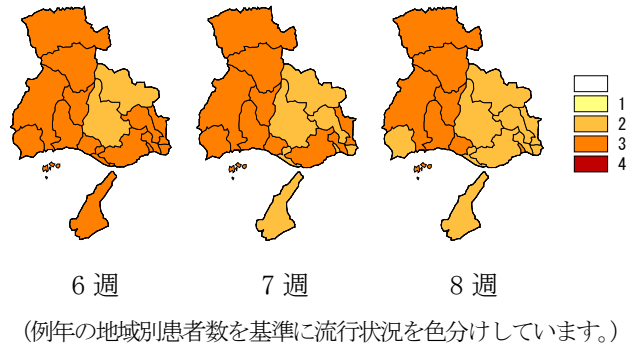
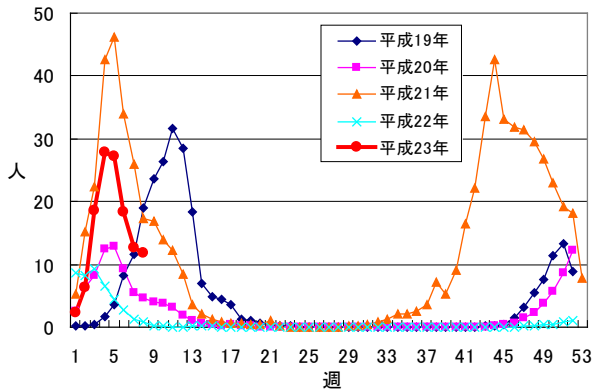
定点あたり患者数は、先週の12.76人から今週**11.74人**と減少しましたが減少の程度は鈍化しました。新型インフルエンザ(AH1pdm)が主流の流行のピークは過ぎたと思われますが、今後は別の型(A香港型やB型)の流行により患者数が増加することも考えられますので引き続き注意が必要です。地域的にみると、朝来保健所管内で警報レベルである定点あたり30人以上、神戸市、姫路市、芦屋、伊丹、明石、加古川、加東、龍野、赤穂、中播磨の10保健所管内が注意報レベルである定点あたり10人以上となっています。

兵庫県内の学級閉鎖等(第8週)の状況は、施設数105か所(先週103か所)、患者数947人(同797人)、欠席者数852人(同763人)と増加しました。

兵庫県立健康生活科学研究所:健康生活科学研究センターは、今シーズン、これまでに175検体のインフルエンザウイルスを検出していますが、その内訳は新型インフルエンザ(AH1pdm)138件(79%)、A香港型(AH3亜型)31件(18%)、B型6件(3%)と、新型インフルエンザ(AH1pdm)の割合が大部分を占めていますが、2月の中旬以後A香港型の検出数が増加しています。

インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



インフルエンザ重症サーベイランスの概況

県疾病対策課より情報提供がありましたので掲載します。

インフルエンザ重症サーベイランスの概況 平成23年1月1日以降(平成23年3月1日時点)

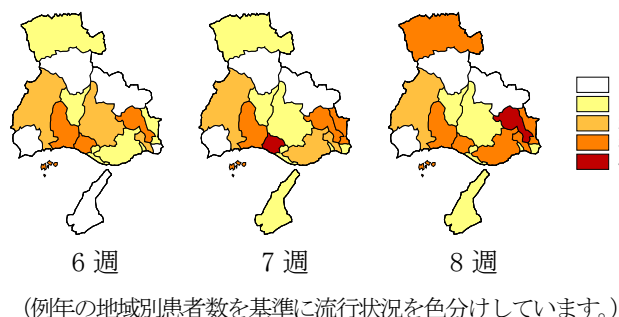
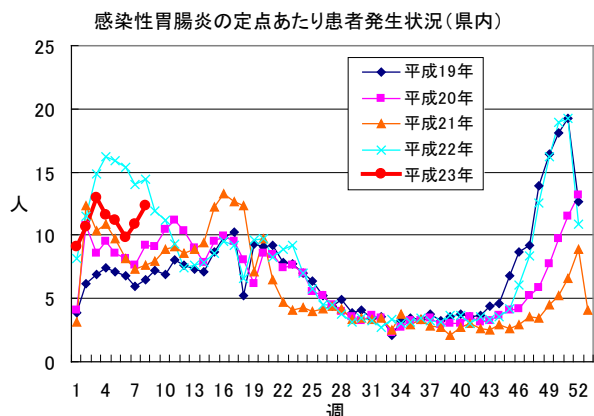
	1歳未満		1~4歳		5~9歳		10~14歳		15~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上		計		
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
兵庫県総数	0	1	0	0	1	2	1	2	3	2	4	4	1	4	3	4	6	26									
うち基礎疾患を有する者	0	1	0	0	0	1	2	2	2	2	2	3	1	4	3	4	6	22									
うち死亡者数	0	1	2	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	2	3	4	5	13								
うち基礎疾患を有する者	0	1	2	0	0	1	1	1	0	0	1	1	1	2	3	4	5	12									

	新型(A/H1N1)		Aソ連型(H1)		A香港型(H3)		A型(亜型不明)		B型		調査中		計	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
兵庫県総数	2	12	0	1	3	3	10	0	0	1	6	26		
うち死亡者数	2	5	0	1	1	2	7	0	0	5	13			

※1 インフルエンザ重症サーベイランスは、入院中に一時期でも急性脳症に罹患、人工呼吸器装着を装着、集中治療室に入室の患者、死亡者が対象。
 ※2 今週とは、先週月曜日から日曜日とする。今週以外で修正があった場合は累計に反映する。

感染性胃腸炎

定点あたり患者数は今週 **12.38 人**（先週は 10.91 人）と増加しました。この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの励行を基本に、吐物などの後始末を素手で行わない、二枚貝類は十分に加熱して食べるなどの注意が重要です。



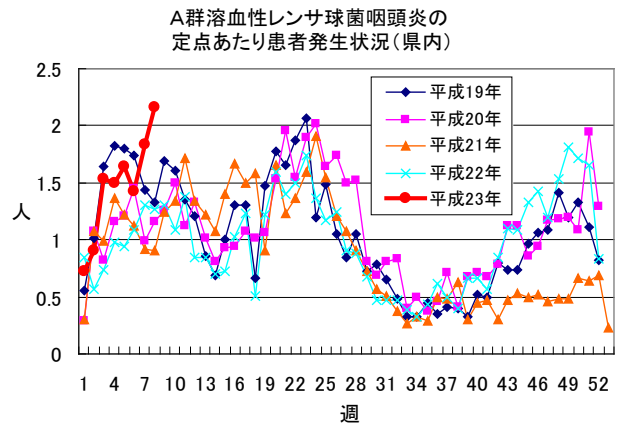
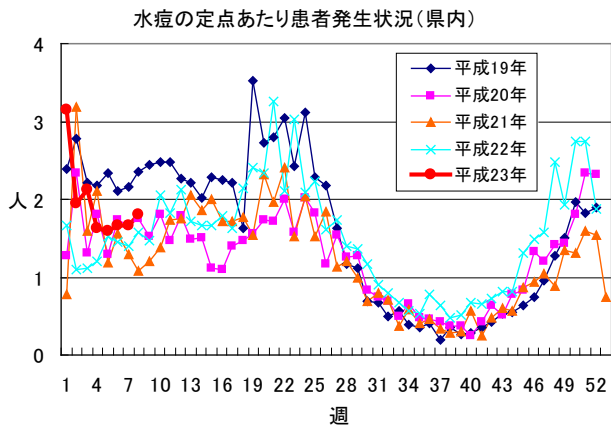
定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1 位	感染性胃腸炎	12.38	10.91	+1.47	6 位	咽頭結膜熱	0.75	0.70	+0.05
2 位	インフルエンザ	11.74	12.76	-1.02	7 位	RS ウイルス感染症	0.71	0.67	+0.04
3 位	A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎	2.16	1.83	+0.33	8 位	伝染性紅斑	0.51	0.35	+0.16
4 位	水痘	1.81	1.67	+0.14		流行性角結膜炎	0.51	0.54	-0.03
5 位	流行性耳下腺炎	1.17	1.33	-0.16	10 位	突発性発しん	0.47	0.39	+0.08

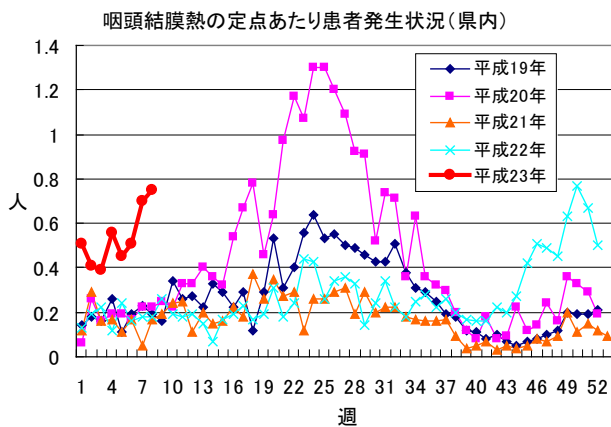
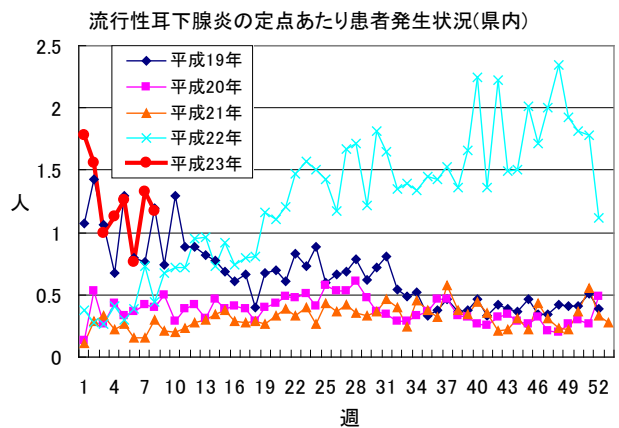
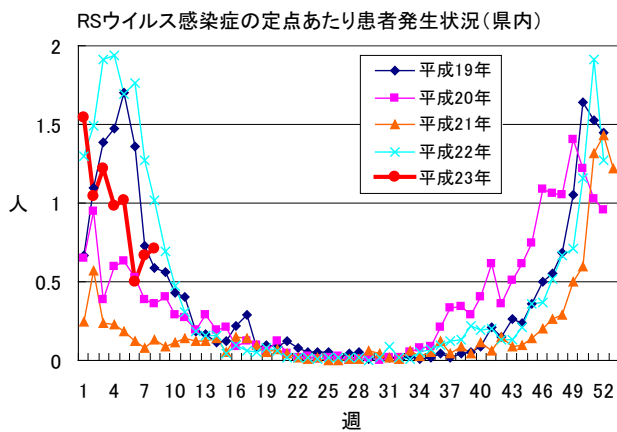
全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 25 名 （神戸市 6 名、尼崎市 3 名、姫路市 5 名、西宮市 1 名、伊丹保健所管内 3 名、宝塚保健所管内 1 名、明石保健所管内 3 名、龍野保健所管内 2 名、朝来保健所管内 1 名）
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1 名 （有症者 1 名） （神戸市；O157 VT2+ 男性 10 歳代）（累積報告数 4 名；有症者 1 名、うち HUS 0 名）
4 類感染症	報告はありません。
5 類感染症	ウイルス性肝炎 1 名 （神戸市；サイトメガロウイルス 女性 20 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；異性間性的接触）、 風しん 1 名 （伊丹保健所管内；検査診断例 男性 30 歳代）
追加報告	結核 5 名 （尼崎市 1 名、姫路市 2 名、加古川保健所管内 1 名、赤穂保健所管内 1 名）、 クロイツフェルト・ヤコブ病 1 名 （尼崎市；古典型 女性 60 歳代）

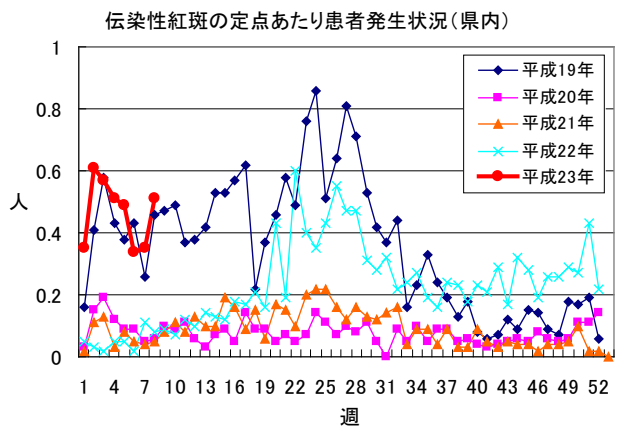
目で見る動向（県内）



2 週連続で患者数が急増している。



例年同時期と比較して患者数が多い。



平成 19 年と同様に例年同時期と比較して患者数が多い。

この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。